

施工説明書

●製品概要

名 称	アーバンビューダイレクトβ		アーバンビューダイレクトβ 250	
形 式	HCF1577BHE (／W)	HCF1578BHE (／W)	HCF2577BHE2/DG (／W)	HCF2578BHE2/DG (／W)
適 合 ラ ンプ	MT150(F)CE-L(DW)(WW)(W)/S MT150(F)CE-NR/S-T30 MT150(F)CEH-DW(WW)(W)/S NHT150(F)SDX MT150(F)SLW(SDW)(SW)(D) MT150(F)C-R/S MT150(F)/V(G)		MT250CE-W/BH MT250SW	
口 出 線	クロロプレンキャブタイヤケーブル 器具外 1.2m			
	1 mm ² 3 心		1.25mm ² 3 心	
質 量	4.5kg		5.0kg	
防 水 性 能	防雨形		防雨形	
定格入力電圧	100 / 200V 共用		200V 専用	
電圧変動範囲	定格値± 6 %			
周 波 数	50 / 60 H z 共用			
使用温度範囲	－ 5 ～ 35℃		－ 5 ～ 30℃	
使 用 場 所	屋外の一般的な場所			

●ご使用上の注意

1. 投光器は図 1、図 2 に示すような使用制限範囲内で使用してください。
2. ランプにより点灯姿勢に制限がありますのでご確認のうえ、使用してください。
3. 照射物との距離は必ず0.5m以上（150Wは0.3m以上）にしてください。火災の原因となることがあります。
4. ランプが不点の場合、150Wは約20分間、250Wは約30分間で高圧パルスは自動的に停止します。パルス停止機能が働いた場合は、一旦電源を切ってから再投入しますと再び高圧パルスがランプに印加されます。
5. 器具の周囲温度が使用温度範囲以上の場所で使用した場合、または直射日光の当たる場所でランプを点灯した場合、内蔵温度ヒューズが働き、ランプが消灯する場合がありますが、電子部品の保護機能であり故障ではありませんが、このような環境下では使用しないでください。温度上昇によりインバータの故障、および火災の原因となることがあります。
6. 落雷等による瞬時的停電の場合は、パルス停止機能が働いたまま復帰しないことがあります。その場合、電源を一旦切ってから再投入してください。

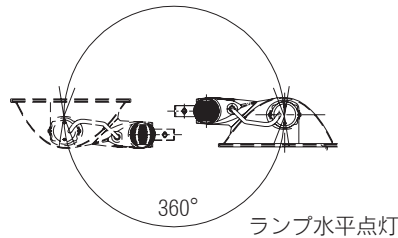


図 1 使用可能範囲

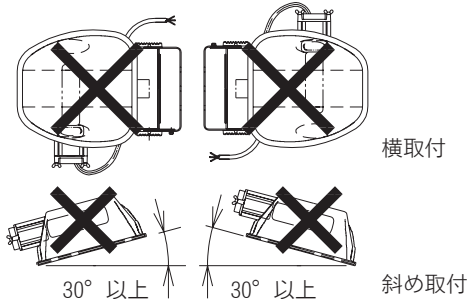


図 2 使用不可

●ランプの取付

1. ランプホルダーのソケットにランプを確実にねじ込んでください。取付けが不完全な場合、ランプの不点灯、ランプ落下の原因となることがあります。
2. 照明器具の光源筒とランプホルダーの取付けは、図 3 のように光源筒にランプホルダーを挿入し 2ヶ所の蝶ねじを平均的に締付けてください。取付けが不完全な場合、落下、浸水の原因となることがあります。ランプの挿入向きは図 4 のように警告ラベルの天空側の範囲が上になるように挿入し、取付けてください。挿入向きにより色むらの原因となることがあります。

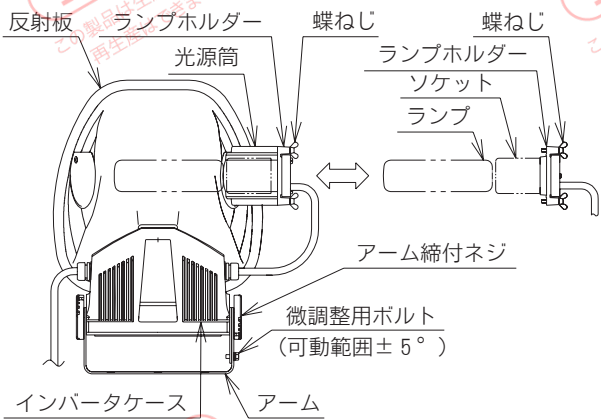


図 3

図はHCF2577(8)BHE2/DG(／W)

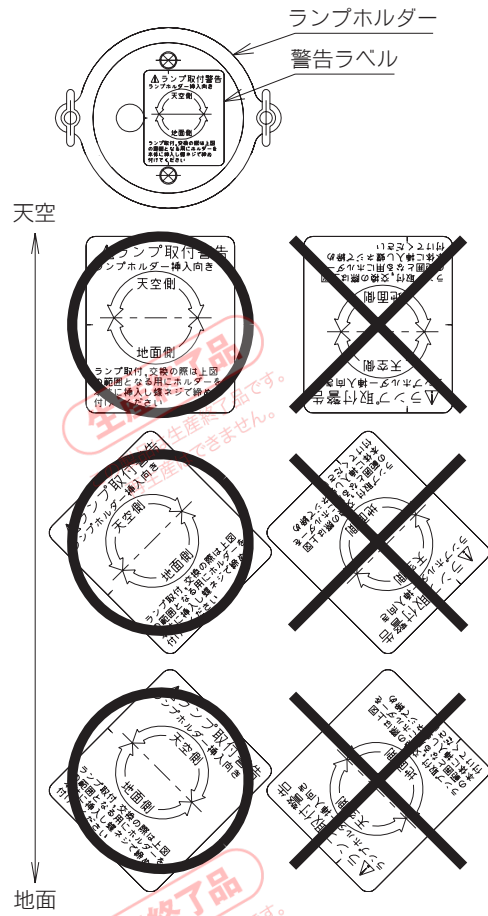


図 4 ランプホルダー挿入向き

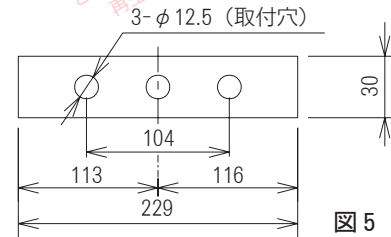
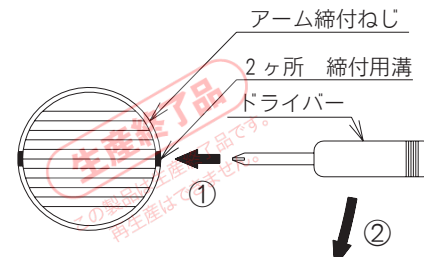


図 5



- ①一般形ドライバー（φ6.5以下）を差し込み
- ②ドライバーを回転させ強く締めます

図 6

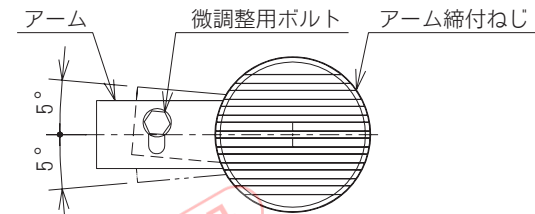


図 7

●器具の取付

- ◎投光器は使用制限範囲内での構造物への取付けを考慮のうえ、設置してください。
- ◎投光器は人が容易に触れるおそれのない構造物の取付面に設置してください。また、人が容易に触れる所で使用する場合は、点灯中高温となるため、柵などを設け保護対策を施してください。

投光器のアームには図 5 のように取付穴（φ12.5）が設けてありますので、適用ボルトM10 2本で緩みのないように確実に締付けてください。締付けが不十分な場合、ボルトが外れ、器具の落下の原因になることがあります。

●照射角度の調整

1. 図 3 のアーム締付ねじを緩めて照射角度に合わせてください。
2. 照射角度調節後、しっかりと締付け直してください。手での締付けが不十分な場合、図 6 のアーム締付ねじに締付け用溝がありますので、図 6 のように一般形のドライバー（先端径φ6.5以下）で締付けてください。
3. アーム締付ねじ部での角度調節は10° ピッチです。それ以外の角度で使用しますと不十分な締付けになり、投光器の落下の原因になりますのでおこなわないでください。
4. 10° 以下の微調整が必要な場合はアーム締付ねじを若干緩め、図 3 の微調整用ボルトを緩めて微調整をおこなってください。微調整の範囲は± 5° です。調整後、微調整用ボルト、およびアーム締付ねじをしっかりと締付けてください（図 7）。

締付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因になることがあります。

●電源線の接続

1. 投光器の口出線（3心キャブタイヤケーブル）に接続する配線は600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、器具からの口出線に電源を結線してください。（注）口出線の色
HCF1577(8)BHE(／W) 茶、青線 アース線：緑／黄
HCF2577(8)BHE2/DG(W) 黒、白線 アース線：赤
その際、結線部には確実に絶縁処理を施してください。絶縁処理は導体部分のみではなくシース（外被）部も含めておこなってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、ランプ不点の原因になることがあります（図 8）。口出線の接続は電気設備基準の省令第 7 条、および同解釈第12条に従ってください（具体的な接続方法：内線規定1335～7参照）。
2. 3心のうち緑／黄線または赤線がアースです。D種接地工事をおこなってください。
3. この器具にはインバータが内蔵されていますので適合ランプが限定されます。ランプ設置前によく条件を確認のうえ、設置してください。適合ランプや使用環境についてのお問い合わせは最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

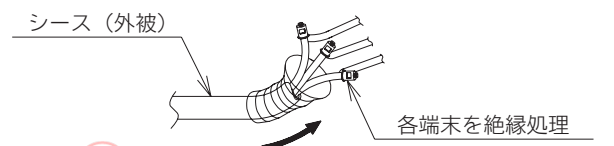


図 8 自己融着テープ等により各端末を絶縁処理した後にシース（外被）部から絶縁処理をおこなってください。